

地方独立行政法人市立吹田市民病院
令和 7 年度の業務実績に関する評価結果報告書（案）
【全体評価・大項目評価】

令和 8 年 7 月

吹田市

目 次

	ページ数
はじめに	・・・ 1
1 評価の基本方針	・・・ 1
2 評価の方法	・・・ 1
3 評価の基準	・・・ 2
第1項 全体評価	
1 評価結果及び判断理由	・・・ 3
2 全体評価理由	・・・ 4
3 評価に当たっての意見、指摘等	・・・ 4
第2項 項目別評価	
1 「第2 市民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する事項」	
（1）評価結果	・・・ 5
（2）判断理由及び考慮した事項、内容	・・・ 5
（3）小項目評価の集計結果	・・・ 5
（4）評価に当たっての意見等	・・・ 8
2 「第3 業務運営の改善及び効率化に関する事項」	
（1）評価結果	・・・ 12
（2）判断理由及び考慮した事項、内容	・・・ 12
（3）小項目評価の集計結果	・・・ 12
3 「第4 財務内容の改善に関する事項」	
（1）評価結果	・・・ 13
（2）判断理由及び考慮した事項、内容	・・・ 13
（3）小項目評価の集計結果	・・・ 13
（4）評価に当たっての意見等	・・・ 14
4 「第5 その他業務運営に関する重要事項」	
（1）評価結果	・・・ 16
（2）判断理由及び考慮した事項、内容	・・・ 16
（3）小項目評価の集計結果	・・・ 16

はじめに

本報告書は、地方独立行政法人法第28条第1項第3号の規定に基づき、地方独立行政法人市立吹田市民病院の令和7年度の業務実績の全体について、吹田市が総合的に評価を実施したものである。

評価にあたっては、「地方独立行政法人市立吹田市民病院 業務実績評価の基本方針」及び「地方独立行政法人市立吹田市民病院 年度評価実施要領」に基づき、地方独立行政法人市立吹田市民病院評価委員会の意見を聴いた上で、評価を行った。

地方独立行政法人市立吹田市民病院評価委員会 委員名簿（令和8年7月10日現在）

	氏 名	団体及び役職等
	矢 野 雅 彦	医療法人協和会 協和会病院 病院長
	御 前 治	吹田市医師会 会長
	山 本 一 博	国立循環器病研究センター 病院長
	坂 田 泰 史	大阪大学医学部附属病院 病院長
	牛 田 隆 己	吹田商工会議所 副会頭
	足 立 泰 美	甲南大学 経済学部 教授
	清 水 和 也	日本公認会計士協会近畿会

（敬称略）

1 評価の基本方針

- （1） 評価は、法人が中期目標を達成するために、業務運営の改善及び効率化が進められること及び法人の質的向上に資することを目的として行うものとする。
- （2） 評価は、中期計画及び年度計画の実施状況を確認及び分析し、法人の業務運営等について総合的に判断して行うものとする。
- （3） 評価を通じて、中期目標及び中期計画の達成に向けた取組状況等を市民にわかりやすく示すものとする。
- （4） 中期計画及び年度計画を達成するための業務運営改善や効率化等をめざした特色のある取組や様々な工夫については、中期計画及び年度計画に記載していない事項であっても、積極的に評価する。
- （5） 評価方法については、法人を取り巻く環境変化等を踏まえ、柔軟に対応するとともに、必要に応じて見直しを行うものとする。

2 評価の方法

評価は、「項目別評価」（小項目評価及び大項目評価）と「全体評価」により行う。

項目別評価では、法人の小項目ごとの自己評価をもとに、法人からのヒアリング等を通じて、業務の実施状況を確認及び分析したうえで、特記事項の記載内容等を考慮し、進捗状況を総合的に勘案し5段階で評価する。

全体評価では、法人の項目別評価の結果も踏まえつつ、また、法人が各項目で実施した取

組状況も考慮しながら、中期計画の進捗状況等について、記述式で総合的に評価する。

3 評価の基準

(1) 小項目評価

- 5……年度計画を大幅に上回って実施している。
- 4……年度計画を上回って実施している。
- 3……年度計画を順調に実施している。
- 2……年度計画を十分に実施できていない。
- 1……年度計画を大幅に下回っている。

(2) 大項目評価

- S……年度計画を達成し、中期計画の実現に向けて特筆すべき進捗状況にある。(全ての小項目が 3～5 かつ市長が特に認める場合)
- A……年度計画を達成し、中期計画の実現に向けて計画どおり進んでいる。(全ての小項目が 3～5)
- B……年度計画を実施し、中期計画の実現に向けて概ね計画どおり進んでいる。(3～5 の小項目の割合が概ね9割以上)
- C……年度計画を実施したが、中期計画の実現のためにはやや遅れている。(3～5 の小項目の割合が概ね9割未満)
- D……年度計画を実施しているが、中期計画の実現のためには重大な改善すべき事項がある。(市長が特に認める場合)

(3) ウェイト項目

小項目の年度計画に占める軽重をより適切に反映するため、評価に当たり、各小項目にウェイトを設定する。小項目評価の集計結果の表中においてウェイト付けした項目は「◎」で表記し、項目数を2とし、その他の項目は「○」で表記し、項目数を1として個数及び割合を計算する。

第1項 全体評価

1 評価結果及び判断理由

地方独立行政法人市立吹田市民病院における令和7年度の全体評価の結果は、

全体として、中期計画の実現に向けて概ね計画どおり進んでいるである。

令和7年度業務実績等報告書の内容を確認し、調査・分析を行った結果、令和7年度の業務実績に関する評価は以下の大項目評価一覧のとおり。

大項目評価について、第3、第5項目は評価Aであるものの、第2項目は評価B、第4項目は評価Cと判断した。

以上の各大項目の評価結果をもとに、全体評価としては、「全体として、中期計画の実現に向けて概ね計画どおり進んでいる。」と判断したものである。

大項目評価一覧

大項目	大項目評価	
第2 市民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する事項	<u>B</u>	<u>年度計画を実施し、中期計画の実現に向けて概ね計画どおり進んでいる。</u>
第3 業務運営の改善及び効率化に関する事項	<u>A</u>	<u>年度計画を達成し、中期計画の実現に向けて計画どおり進んでいる。</u>
第4 財務内容の改善に関する事項	<u>C</u>	<u>年度計画を実施したが、中期計画の実現のためにはやや遅れている。</u>
第5 その他業務運営に関する重要事項	<u>A</u>	<u>年度計画を達成し、中期計画の実現に向けて計画どおり進んでいる。</u>

※なお、年度計画における大項目の第1は、「年度計画の期間」に関する項目であり、評価対象にはなっていないため、上記の大項目評価一覧には記載していない。

2 全体評価理由

第3期中期目標期間の最終年度となる令和7年度は、急激な物価上昇や人件費の高騰、医療人材の確保難など、病院経営を取り巻く環境がさらに厳しさを増すなか、地域の医療機関との機能分担・連携を一層進め、地域の中核病院としての役割を果たした。

救急医療については、依然として課題が認められたものの、チーム医療の充実などの取組による医療の質・安全性の向上や、在宅医療の充実に向けての円滑な退院支援について、着実な成果が見られた。

隣接する国立循環器病研究センターとの連携については、相互の紹介件数を順調に伸ばし、法人と同センターの相乗的な価値向上を図るとともに、医療の質の向上に努めた。

コロナ禍以後の患者動向の変化や診療報酬改定の狭間期であったことなどから収益が伸び悩んだ一方、積極的な価格交渉などの費用節減の取組については一定の成果が見られた。

以上のことから、全体として、中期計画の実現に向けて概ね計画どおり進んでいると評価した。

3 評価に当たっての意見、指摘等

① 救急医療

救急医療の提供は、市立病院が果たすべき重要な役割の一つであるとともに、救急車搬送受入件数の向上は収益の確保にも大きく寄与する。これらのことを踏まえ、人材確保を含めた救急応需体制の見直し及び強化を図り、救急車搬送受入件数及び時間外救急車搬送受入率の向上に努めることで、救急搬送先として「選ばれる病院」となることを期待したい。

② 経営基盤の確立・収益の確保・費用の節減

急激な物価上昇や人件費の高騰の影響を受けるなかでも、費用の適正化に一定の成果が見られたことは評価するものの、患者数の伸び悩みにより収益の確保に係る指標については概ね目標未達となり、経常収支比率及び医業収支比率について目標に届かなかったことから、更なる経営改善の必要性が明確になった。

持続可能な病院経営に向けて、救急医療など具体的な課題が明らかになっている分野への対応を進めるとともに、その他の診療分野についてもより詳細な分析を活用した経営改善に取り組むことで、更なる収益の確保及び経営基盤の強化を実現されたい。

第2項 項目別評価

1 「第2 市民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する事項」

(1) 評価結果

B：年度計画を実施し、中期計画の実現に向けて概ね計画どおり進んでいる。

(2) 判断理由及び考慮した事項、内容

小項目評価の集計結果について、評価4「年度計画を上回って実施している」が6項目、評価3「年度計画を順調に実施している」は31項目、評価2「年度計画を十分に実施できていない」は2項目であった。評価3以上の小項目の割合が9割を超えているため、評価B「年度計画を実施し、中期計画の実現に向けて概ね計画どおりに進んでいる」と判断した。

(3) 小項目評価の集計結果

該当ページ 該当ページについては、令和7年度の業務実績に関する評価結果報告書【小項目評価】におけるページ。		小項目評価				
		評価5	評価4	評価3	評価2	評価1
1 大阪府地域医療構想を踏まえて果たすべき役割	(1) 大阪府地域医療構想の概要	P2-4	—	—	—	—
	(2) 当院が果たすべき役割	P2-4	—	—	—	—
2 市立病院として担うべき医療	(1) 総論	P4-5		○		
	(2) 救急医療 ア 二次救急医療機関としての円滑な救急応需体制の維持・確保	P5-7			◎	
	イ 初期救急医療における機能分担・連携			○		
	(3) 小児医療・周産期医療 ア 小児医療	P8-9		○		
	イ 周産期医療			○		
	(4) 災害医療 ア 災害時の医療体制の整備	P10-11		○		
	イ 市及び地域の医療機関との連携体制			○		
	(5) 感染症医療	P12-13		○		
	(6) がん医療 ア 大阪府がん診療拠点病院としてのがん診療体制の整備	P13-16		○		

		該当 ページ	小項目評価				
			評価 5	評価 4	評価 3	評価 2	評価 1
	イ がん予防医療の取組				○		
	(7) リハビリテーション医療 ア 回復期リハビリテーション病棟を活用した在宅復帰への支援	P16 -18			○		
	イ 高齢者の増加に伴う疾患への対応				○		
	(8) 難病に関する医療	P18- 19			○		
	小 計				1 2	2	
3 安心安全で 患者満足度 の高い医療 の提供	(1) 安心安全な医療の提供 ア 医療の安全管理体制の確保	P19 -21			○		
	イ 医療安全対策の徹底				○		
	(2) チーム医療の充実 ア チーム医療の仕組みを活用した質の高い診療・ケアの提供	P22 -23		○			
	イ チーム医療の質の向上				○		
	(3) コンプライアンスの徹底 ア 内部統制体制の整備	P23 -25			○		
	イ 個人情報管理の徹底				○		
	(4) 患者サービスの向上 ア 患者の視点に立ったサービスの提供	P25 -27			○		
	イ 患者に寄り添ったサービスの提供				○		
	ウ 院内ボランティア活動への支援				○		
	小 計			1	8		
4 本市の地域 包括ケアシ ステムの構 築に貢献す る地域完結 型医療の体 制づくり	(1) 地域の医療機関（かかりつけ 医等）との機能分担・連携 ア 紹介・逆紹介の徹底及び在宅医療の支援	P28 -30		◎			
	イ かかりつけ医定着に関する啓 発				○		
	(2) 在宅医療の充実に向けた支援 ア 退院支援	P31 -33		○			

		該当 ページ	小項目評価				
			評価 5	評価 4	評価 3	評価 2	評価 1
	イ 在宅療養者の急変時の受入れ	P31			○		
	ウ 地域医療ネットワークの連携強化	-33			○		
	(3) 地域医療への貢献等	P33 -35			○		
	(4) 福祉保健施策への協力・連携 ア 障がい者(児)歯科診療の実施	P35			○		
	イ 小児科診療における協力・連携	-36			○		
	小 計			3	6		
5 健都における 総合病院とし ての役割	(1) 国立循環器病研究センターとの機能分担・連携 ア 診療における連携	P36		◎			
	イ その他の連携	-39			◎		
	ウ 連携体制の周知				○		
	(2) 他の健都内事業者等との連携 した予防医療等に関する取組 ア 他の健都内事業者等との連携	P39			○		
	イ 予防医療等に関する取組	-41			○		
	小 計			2	5		
	項目数合計			6	31	2	
評価3～5の構成比率			94.8%				

(4) 評価に当たっての意見等

2 市立病院として担うべき医療

・2-(1) 総論

大阪府医療計画で推進が求められている5疾病（がん、脳血管疾患、心血管疾患、糖尿病、精神疾患）、5事業（救急医療、災害医療、感染症（新興感染症発生・まん延時における医療含む）、周産期医療、小児医療）については、救急医療について課題が残るものの、他の医療機関との機能分担・連携の下、市立病院として必要とされる医療サービスが概ね適切に提供されたと評価する。

中期計画及び年度計画において重点的に取り組むと定めたがん医療については、新たに尿管がんに対して手術支援ロボットを使用した手術を開始するなど診療体制を強化し、集学的治療を推進した結果、がん入院患者件数、外来化学療法件数、放射線治療患者数、がん手術件数について、いずれも目標を達成した。

在宅医療については、入院患者数が減少するなかでも、入院前の早期介入により退院支援件数を大幅に伸ばすとともに、多職種カンファレンスや退院前後訪問により、患者・家族の意向に沿った退院支援を実現することで、切れ目のない在宅医療と介護の提供体制の構築に貢献した。

以上の実績から、法人自己評価のとおり、評価「3」（年度計画を順調に実施している。）が妥当であると判断した。

・2-(2) 救急医療

時間外救急搬送受入率、救急車搬送受入件数ともに目標値に至らなかった。

救急車搬送受入件数の減少については、救急車搬送依頼件数の減少が一因と考えられるものの、救急隊との情報共有に活用される応需情報の精度に課題が認められ、更なる改善の余地があることから、円滑な救急応需体制の維持・確保が十分に図られなかったと評価し、評価「2」（年度計画を十分に実施できていない。）が妥当であると判断した。

救急医療の提供は、市立病院として極めて重要な使命であるため、今後、救急専門医等の人材確保も含め、救急応需体制の見直し及び強化により、地域の救急需要を適切に取り込み、受入件数及び受入率の向上に取り組まれない。

【目標指標】

項目		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
時間外救急車搬送 受入率	年度計画 目標	80.0%	80.0%	80.0%	80.0%
	【中期計画目標 (※)】 80.0%	実績	59.4%	71.9%	68.1%
					75.1%

項目		令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度
救急車搬送受入件数 【中期計画目標】 4,280 件	年度計画 目標	4,280 件	4,280 件	4,280 件	4,280 件
	実績	2,852 件	4,180 件	4,116 件	3,502 件
うち時間内 【中期計画目標】 1,400 件	年度計画 目標	1,400 件	1,400 件	1,400 件	1,400 件
	実績	960 件	1,427 件	1,417 件	1,181 件
うち時間外 【中期計画目標】 2,880 件	年度計画 目標	2,880 件	2,880 件	2,880 件	2,880 件
	実績	1,892 件	2,753 件	2,699 件	2,321 件

(※) 令和 4 年度から令和 7 年度までの第 3 期中期計画期間の目標値。(以下同様)

【関連指標】

項目		令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度
救急搬送入院件数	実績	879 件	1,195 件	1,315 件	1,257 件

3 安心安全で患者満足度の高い医療の提供

・ 3 - (2) チーム医療の充実

認知症ケアチーム介入件数については、認定看護師によるラウンド体制強化の取組により対前年度比で 44%増加し、栄養サポートチーム介入件数については、入院前からの早期介入の取組などにより、対前年度比で 12%増加した。以上の成果を評価し、法人自己評価のとおり、「4」(年度計画を上回って実施している。)が妥当であると判断した。

引き続き、チーム医療の仕組みを活用し、医療の質と安全性の向上に努められたい。

【関連指標】

項目		令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度
認知症ケアチーム 介入件数	実績	291 件	319 件	863 件	1,243 件
栄養サポートチーム 介入件数	実績	731 件	854 件	1,217 件	1,372 件

4 本市の地域包括ケアシステムの構築に貢献する地域完結型医療の体制づくり

・ 4－（１）地域の医療機関（かかりつけ医等）との機能分担・連携

紹介率及び逆紹介率は昨年度より上昇し目標値を大きく上回った。

地域全体の患者動向の変化などによる新規患者数の減少の影響もあり、紹介件数については目標値に届かなかったものの、逆紹介件数については順調に件数を伸ばしている。

以上のことから、地域の医療機関との機能分担・連携について着実な成果が認められると評価し、法人自己評価のとおり、「４」（年度計画を上回って実施している。）が妥当であると判断した。引き続き円滑な紹介・逆紹介を推進し、地域医療支援病院として病病・病診連携をより一層活性化されたい。

【目標指標】

項目		令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度
紹介件数	年度計画 目標	20,190 件	20,330 件	20,470 件	20,610 件
【中期計画目標】 20,610 件	実績	18,272 件	19,383 件	20,373 件	20,300 件

項目		令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度
逆紹介件数	年度計画 目標	15,700 件	15,820 件	15,940 件	16,060 件
【中期計画目標】 16,060 件	実績	12,863 件	15,242 件	15,765 件	16,536 件

項目		令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度
紹介率	年度計画 目標	71.5%	72.0%	72.5%	73.0%
【中期計画目標】 73.0%	実績	81.3%	87.1%	87.7%	89.3%

紹介率=初診紹介件数/初診患者数

項目		令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度
逆紹介率	年度計画 目標	65.5%	66.0%	66.5%	67.0%
【中期計画目標】 67.0%	実績	77.1%	104.1%	91.9%	93.0%

逆紹介率=逆紹介件数/初診患者数

項目		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
地域連携パス実施件数	年度計画 目標	125 件	125 件	125 件	125 件
【中期計画目標】 125 件	実績	92 件	117 件	119 件	128 件

【関連指標】

項目		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
登録医数	実績	457 件	485 件	512 件	542 件

・ 4－（2）在宅医療の充実に向けた支援

スタッフへの教育指導の強化により、入院前の早期から支援が必要な患者を把握し、関係機関と適切に連携を図る体制を再構築することで、入院患者数が減っているなかでも、退院支援件数を大幅に伸ばしたことを評価し、法人自己評価のとおり、「4」（年度計画を上回って実施している。）が妥当であると判断した。

引き続き円滑な退院支援を推進し、在宅医療の充実に向けて取り組まれない。

【関連指標】

項目		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
退院支援件数	実績	3,049 件	3,700 件	4,437 件	5,285 件
医療相談件数	実績	10,389 件	12,363 件	11,470 件	12,633 件
介護支援連携件数	実績	59 件	84 件	84 件	88 件
当日入院件数（紹介）	実績	1,160 件	1,581 件	1,735 件	1,774 件
地域医療ネットワーク 会合開催数	実績	1 回	1 回	1 回	1 回

5 健康における総合病院としての役割

・ 5－（1）国立循環器病研究センターとの機能分担・連携

国立循環器病研究センターからの紹介件数及び同センターへの紹介件数について、いずれも順調に件数を伸ばしており、同センターとの診療における連携が十分に図られていることが認められたため、法人自己評価のとおり、「4」（年度計画を上回って実施している。）が妥当であると判断した。

引き続き同センターとの連携を強化することで、相乗的な価値向上と医療の質の向上に努められない。

【関連指標】					
項目		令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度
国立循環器病研究センターからの紹介件数	実績	761 件	798 件	887 件	937 件
国立循環器病研究センターへの紹介件数	実績	840 件	967 件	1,003 件	1,216 件

2 「第3 業務運営の改善及び効率化に関する事項」

(1) 評価結果

A：年度計画を達成し、中期計画の実現に向けて計画どおり進んでいる。

(2) 判断理由及び考慮した事項、内容

小項目評価の集計結果について、全て評価3「年度計画を順調に実施している」であったことにより、評価A「年度計画を達成し、中期計画の実現に向けて計画どおり進んでいる。」と判断した。

(3) 小項目評価の集計結果

該当ページ		小項目評価				
		評価 5	評価 4	評価 3	評価 2	評価 1
該当ページについては、令和7年度の業務実績に関する評価結果報告書【小項目評価】におけるページ。						
1 効果的・効率的な業務運営	ア 重点方針の共有及び目標達成に向けた取組			○		
	イ 目標管理の徹底			○		
	ウ 経営改善に向けた取組			◎		
	小 計			4		
2 働きやすい職場環境の整備	(1) 働き方改革の推進	P43 -44		◎		
	(2) 人材の確保・養成 ア 人材の確保	P44		◎		
	イ 医療従事者の質の向上と研修・指導体制の充実	-46		◎		
	(3) 人事給与制度 ア 職員給与の設定・運用	P46		○		
	イ 人事評価制度の運用	-47		○		

	小 計			8		
項目数合計				1 2		
評価 3 ～ 5 の構成比率 (%)			1 0 0 %			

3 「第4 財務内容の改善に関する事項」

(1) 評価結果

C：年度計画を実施したが、中期計画の実現のためにはやや遅れている。

(2) 判断理由及び考慮した事項、内容

小項目評価の集計結果について、評価3「年度計画を順調に実施している」は5項目、評価2「年度計画を十分に実施できていない」は4項目であった。評価3以上の小項目の割合が9割未満であったため、評価C「年度計画を実施したが、中期計画の実現のためにはやや遅れている。」と判断した。
--

(3) 小項目評価の集計結果

該当ページ		小項目評価				
		評価5	評価4	評価3	評価2	評価1
1 経営基盤の確立		P47-49			◎	
2 収益の確保と費用の節減	(1) 収益の確保 ア 収益の確保	P49-52			◎	
	イ 未収金の発生予防・早期回収			○		
	(2) 費用の節減 ア 主要な費用の数値目標の設定	P52-55		○		
	イ 人件費・経費の適正化			◎		
	ウ 材料費の適正化			○		
項目数合計				5	4	
評価3～5の構成比率 (%)			55.5 %			

(4) 評価に当たっての意見等

・ 1 経営基盤の確立

急激な物価上昇など、病院経営を取り巻く環境が厳しさを増すなか、材料費の適正化などの取組による費用の節減については一定の成果が認められたが、コロナ禍後の患者動向の変化による患者数の伸び悩みや診療報酬制度の構造的問題などにより収益が伸び悩み、経常収支比率及び医業収支比率は目標値に届かなかった。また、経営人材の確保や経営改善に関する取組について、改善の余地が認められたことから、評価「2」（年度計画を十分に実施できていない。）が妥当であると判断した。

経営基盤の強化に向けて、診療科別の収支状況の把握、他病院との比較、先行事例の調査等による、より積極的な分析を活用し、更なる経営改善に取り組まれない。

【目標指標】

項目		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
経常収支比率	年度計画目標	99.8%	99.4%	100.2%	100.3%
【中期計画目標】 101.3%	実績	112.1%	95.5%	97.1%	96.6%

項目		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
医業収支比率	年度計画目標	93.7%	94.1%	96.8%	97.3%
【中期計画目標】 96.9%	実績	91.0%	87.6%	93.5%	91.2%

2 収益の確保と費用の節減

・ 2－(1) 収益の確保

外来診療単価については目標を達成したものの、コロナ禍以後の患者動向の変化や救急車搬送依頼件数の減少により患者数が伸び悩み、病床利用率や入院患者数、外来患者数など多くの指標について昨年度を下回り、目標未達となった。救急車搬送依頼件数の減少については前述のとおり改善の余地が認められるほか、その他の診療分野についても、より精緻な分析を行い、更なる収益の確保につなげる取組を期待し、評価「2」（年度計画を十分に実施できていない。）が妥当であると判断した。

【目標指標】

項目		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
病床利用率	年度計画目標	90.0%	90.0%	90.0%	90.0%

【中期計画目標】 90.0%		実績	68.7%	72.7%	77.8%	76.2%
-------------------	--	----	-------	-------	-------	-------

項目		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
入院患者数 (1日当たり)	年度計画 目標	387.7人	387.7人	387.7人	387.9人
【中期計画目標】 387.7人	実績	296.1人	313.3人	335.5人	328.3人

項目		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
外来患者数 (1日当たり)	年度計画 目標	900人	900人	900人	900人
【中期計画目標】 900.0人	実績	896.1人	833.1人	845.5人	819.8人

項目		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
入院診療単価	年度計画 目標	64,600円	65,600円	68,500円	73,000円
【中期計画目標】 65,800円	実績	75,591円	72,119円	72,014円	72,622円

項目		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
外来診療単価	年度計画 目標	18,000円	18,200円	20,000円	21,800円
【中期計画目標】 18,600円	実績	20,772円	21,680円	22,571円	23,317円

項目		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
新入院患者数	年度計画 目標	10,800人	10,860人	10,920人	13,232人
【中期計画目標】 10,970人	実績	9,060人	9,615人	10,505人	10,451人

項目		令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度
手術件数	年度計画 目標	3,600 件	3,730 件	3,870 件	4,000 件
【中期計画目標】 4,000 件	実績	3,617 件	3,843 件	3,930 件	3,946 件

【関連指標】

項目		令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度
平均在院日数	実績	10.9 日	10.9 日	10.7 日	10.5 日

4 「第５ その他業務運営に関する重要事項」

(１) 評価結果

A：年度計画を達成し、中期計画の実現に向けて計画どおり進んでいる。

(２) 判断理由及び考慮した事項、内容

小項目評価の集計結果が、全て評価３「年度計画を順調に実施している」であったことにより、評価Ａ「年度計画を達成し、中期計画の実現に向けて計画どおり進んでいる。」と判断した。

(３) 小項目評価の集計結果

該当ページ		小項目評価				
		評価 ５	評価 ４	評価 ３	評価 ２	評価 １
該当ページについては、令和７年度の業務実績に関する評価結果報告書【小項目評価】におけるページ。						
1 情報の提供	ア 特色ある診療内容の周知			○		
	イ 市民や患者に対する啓発・情報発信			○		
	ウ 市民公開講座等の積極的な開催			○		
	エ 法人の経営状況の公表			○		
2 環境に 配慮した 病院運営	ア 環境負荷の軽減・エネルギー消費量の抑制			○		
	イ 環境配慮に対する職員意識の普及啓発			○		
項目数合計				6		
評価３～５の構成比率（％）		100％				